

# あいさつ運動の好事例

## 岡山県立西大寺高等学校

生徒数 957名 教職員数 84名

最寄の駅で笑顔であいさつ

### アピールポイント

本校では、全県的な取組み「あいさつ運動」を毎月10日前後に実施しています。

主な参加生徒は風紀委員会の生徒と生徒会執行部です。今年からは校門や生徒昇降口といった校内だけでなく、最寄のJR西大寺駅を活動場所に加えました。この駅での活動は社会貢献活動として評価しています。

一般の方や近隣の他校の生徒ともあいさつをかわすことで、朝からさわやかな気分を味わっています。

照れずに元気よくあいさつすることで、地域に活気を与え、また、自然体のあいさつを基本的なスキルとして身に付けていけると思っています。

### 実際の様子



### 取組の概要

#### ■生徒の実態

本校は3つの学科を設置し、1学年8クラスの大規模校である。本校生徒の多くは中学校から引き続き運動部等で活動しており、総じて個性豊かで元気で、基本的な生活習慣を身に付けている。よって学校全体の雰囲気も落ち着いている。しかし、一方で人間関係作りが苦手で、引っ込み思案のきらいのある生徒もおり、あいさつをされれば返せるが、自分から率先してあいさつをできない生徒も少なくない。

#### ■活動内容

生徒が利用する校門2箇所、及び生徒昇降口であいさつ運動を実施している。今年度からは利用する生徒の多い、最寄のJR西大寺駅でもあいさつ運動を同時に実施するようになった。その際には県から支給された幟を掲げ、あいさつを交わす気運を高めている。

#### ■取組の参加メンバー

企画立案を行っている風紀委員会の生徒が中心となっている。それに生徒会執行部が協力する形態をとっている。教職員は校長、生徒課の教員などが参加している。

#### ■成果・効果

劇的な変化は現時点ではないが、あいさつは自由意思に任せられるものではなく、社会人として、当然のこととして求められるものだという事は、生徒にアピールできている。まずはあいさつをされれば返すというレベルに全ての生徒を到達させることを目標にしており、その目標には徐々に近づいている。